

2009年度 代表事業①

事業名

納涼祭

委員会

会員交流委員会

委員長：深澤 晋嗣

副委員長：笹本 光泰

副委員長：金谷 宣孝

幹事：小林 博美



事業趣旨要約

静岡青年会議所がより活発に活動をしていくためには、会員同士がより広く深く交流をし、結束を固めていく必要があります。そして会員が活動していくためには、日頃支えてくれている家族をはじめとする友人の方々の協力が必要不可欠であります。日頃支えてくれているご家族や友人の方々に静岡青年会議所の仲間と同じ時間を分かち合うことで、青年会議所活動への理解と協力が繋げていくことと共に、会員同士の更なる結束を図っていきます。会員や会員の家族の方々に積極的に参加して頂き、青年会議所に興味を持っていただくことを心がけると同時に、参加していただいた方々がお互いを広くよく知る為の企画や、親睦を深め、楽しんでいただける運営に努めてまいります。また、本年度前期新入会員に設営の一部を任せ、同期としての結束を固め、より多くの会員や会員の家族の方々と交流し、親睦を深めていただきます。本事業の中で一人でも多くの参加者同士が親睦を深め理解し合うことが、今後の静岡青年会議所の結束と更なる活性化に繋がると確信いたします。

背景

- ・現在、静岡青年会議所は全国でも有数の巨大LOMであり、すべての会員同士の交流が難しくなっている。
- ・青年会議所活動をより活発にしていくためには、会員の家族の方々の日ごろの支えと協力が必要である。
- ・会員拡大活動に積極的に取り組んでいくのと同時に、新入会員との交流活動にも積極的に取り組んでいく必要がある。

効果

過去に行ってきた様々な事業の紹介ビデオや、音響・火花などを用いた演出で会員たちに改めて自分たちの活動目標を再認識し、心が1つになる。
また、家族の方々に、我々がやっている活動のすばらしさを知っていただき、今後も変わらぬ会員たちへの支援をしていただけた。

例会の流れ・目的

「基本方針 会員・家族の交流及び世界の仲間との文化交流」の実現に関わる事項
会員及び会員のご家族や友人の方々と同じ時間を分かち合うことで会員同士の更なる結束を図っていく。

会員同士・会員の家族間の交流をより広く深め、結束を固めることで組織を活性化させる

- ・日ごろ一緒に活動している仲間の紹介
自己紹介の基本である名刺交換というツールを用いて、会員同士の情報交換を図る。
日ごろ会員達の運動を支えてくれている家族の方々に、一緒に活動している仲間を紹介することで、家族の方々の理解を得る。

・積極的に交流を図る為の演出や企画

初めて会った家族の方々同士では、積極的に交流しづらい為、親睦を深める遊びや食事を提供し、気軽に交流できるような演出をする。 また、名刺を用いた抽選会を行うことで、積極的な情報交換を促す。

・一つのものに全員が集中し、思いをひとつにすることで一体感

過去に行ってきた様々な事業の紹介ビデオや、音響・火花などを用いた演出で会員たちに改めて自分たちの活動目標を再認識していただき、心を1つにする。 また、家族の方々にも、我々がやっている活動のすばらしさを知っていただき、今後も変わらぬ会員たちへの支援をしていただく。

当日のスケジュール

- 15:00 登録開始
- 16:00 開祭宣言
- 16:05 委員長挨拶
- 16:10 全体説明・名刺交換・抽選会等の説明
- 16:20 地域別名刺交換
- 16:50 飲食ブーススタート
イベントブーススタート
フリー名刺交換
- 18:20 抽選会
- 18:40 ビデオ上映
- 18:50 理事長挨拶
火花
- 19:00 閉祭宣言

達成検証

納涼祭を行なうことで、日頃JC運動や活動に邁進するメンバー、そしてそれを理解し支えてくれる大切な方々の労をねぎらい、さらには親睦を深めるものとなった。

所見

「納涼祭」では、ご家族の方々を含め300人近くのご参加をいただくことができました。設営に関して多々不備があり、反省点も多々ありましたが、当委員会に配属になった前期新入会員達も準備段階から当日の運営まで非常にがんばってくれ、今後のJC活動に参加していくための良いきっかけになったように感じます。

目的

- ・会員同士・会員の家族間の交流を、より広く深め、結束を固めることで組織を活性化させる。

事業概要

1. 実施日時 2009年8月23日(日) 16:00~19:00
2. 実施場所・会場 日本平ホテル
3. 参加員数計画並びに参加推進方法 参加員数計画：静岡青年会議所会員252名+家族の方々及び友人
参加推進方法： 会員家族宛の招待状配信 会員自宅(家族宛)へ電話連絡 各委員会へPR
4. 予算総額1,778,000円+家族登録料(大人1,500円、子供1,000円)



担当委員長Q&A

01 事業選定の理由、想いを聴かせてください。

会員の家族にJC活動を理解していただき、JCに出席しやすい環境にすること、その結果としてメンバーに情熱を持って活動に取り組んで欲しいとの想いがありました。

02 メンバーをまとめる上で苦労した点を教えてください

右も左も解らない前期新入会員23名が配属された為、JC活動を理解してもらうことが苦労しました。

03 メンバーをまとめる上で工夫した点を教えてください

ベテランメンバーが9名在籍していたため、新入会員の教育をしていただき、メンバー丸となって事業に取り組めるようにしました。

04 事業を行う上で苦労した点を教えてください

どのような事業をしたら会員相互の交流が行えるのか、内容を考えるのに苦労しました。

05 事業を行う上で感動した点を教えてください

入会して間もない新入会員全員が夜遅くまで会場設営、リハーサルに参加してくれたことです。

06 事業に協力してもらった企業・団体に対する想いを教えてください。

日本ホテルの担当者が、日本平グループで使用するための飲食屋台を快くJCの為に提供してくれたことです。また、花火業者を紹介していただき、フィナーレを飾る豪華な花火を上げることができました。

取材全体としてのまとめ・感想

会員の交流と言うよりはむしろ家族に対して、JC活動を理解してもらうことにより、活動に専念できる環境を整えることに主眼が置かれていたのだと感じました。

07 事業の中で1番印象に残った出来事は何ですか？

事業を通して、それまではよそよそしかったメンバーが仲良くなり、委員会が1つにまとまったことです。

08 会員交流といえばクリスマス例会を思い浮かべますが、納涼祭の一番の特徴は何ですか？

両方も会員交流ですが、クリスマス例会のような堅苦しいものではなく、芝生に寝転がったり、膝をつき合わせて気軽に交流ができるようにしたことが特徴です。

09 飲食ブース、イベントブースの選定はどのような基準で行いましたか？

家族に楽しんでもらいたいという趣旨であったので、女性や子供向けの料理やブースを選定しました。

10 過去に行ってきた様々な事業の紹介ビデオや音響・花火を用いた演出で会員たちにどのようなことを感じてもらいたかったですか？

交流事業は多くの会員が集まるのが大事なので、花火を用いて会員の関心を引いて出席してもらい、家族にお父さんが参画しているJCを理解してもらいたかったです。

11 家族との交流を目的とされていますが、具体的に心がけたことはありますか？

とにかく家族に楽しんでもらいたい！という気持ちが強かったので、全メンバーの家族の名前を調べて家族宛に手書きで招待状を送付するなど、家族に対して気を配りました。

取材前後での特に気付いた点

飲食ブース、花火など会員が楽しむ為に納涼会を行ったものだと思っていたが、実は家族向けの事業で、食べ物も女性子供向け準備したり、花火を家族が集まりやすくする宣伝に使用したりと随所に気配りが感じられました。